

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号

特表2003-529398

(P2003-529398A)

(43)公表日 平成15年10月7日(2003.10.7)

(51) Int.Cl.⁷
A 6 1 F 13/496
5/44
13/15
13/49
13/494

識別記号

FL

テ-マコ-ト^{*} (参考)

A 6 1 F 5/44

H 3B029

A41B 13/02

V 4C098

J

K

R

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 33 頁) 最終頁に続く

(21)出願番号	特願2001-517989(P2001-517989)
(86) (22)出願日	平成12年8月23日(2000.8.23)
(85)翻訳文提出日	平成14年2月19日(2002.2.19)
(86)国際出願番号	PCT/US00/23086
(87)国際公開番号	WO01/013847
(87)国際公開日	平成13年3月1日(2001.3.1)
(31)優先権主張番号	60/150, 329
(32)優先日	平成11年8月23日(1999.8.23)
(33)優先権主張国	米国(US)
(31)優先権主張番号	09/637, 427
(32)優先日	平成12年8月11日(2000.8.11)
(33)優先権主張国	米国(US)

(71)出願人 キンパリー クラーク ワールドワイド
インコーポレイテッド
アメリカ合衆国 ウィスコンシン州
54956 ニーナ ノース レイク ストリ
ート 401
(72)発明者 フレイバーガー サラ ジエイン マリー
アメリカ合衆国 ウィスコンシン州
54130 コーコーナ ウエルハウス ドラ
イヴ 2708
(74)代理人 弁理士 中村 稔 (外9名)

(54) 【発明の名称】 再装着可能な吸収体物品

(57) **【要約】**

再接着可能な機構を備えた吸収体物品が開示される。吸収体物品は、前部、背部、及び股部を有する。股部は、前部を背部に接合する。前部は、第1端と、第2端と、第1側縁及び第2側縁とを有する。第1及び第2横区域は、前部に取り外し可能に取り付けられ、第1及び第2横区域の各々は、外縁を有する。背部は、第1及び第2側縁と、第1及び第2端とを有する。背部は、第1区域及び第2区域に分割される。第1区域は、背部の第1端から垂直に、これと平行に引かれた線まで測定した長さ L_1 を有する。第2区域は、背部の第2端から垂直に、第1端に平行に引かれた線までを測定した長さ L_2 を有し、これにより約0.1から約2までの範囲にわたる比 L_2/L_1 が定められる。吸収体物品はさらに、前部、背部、又は股部の少なくとも1つに固定された吸収体を含む。第1及び第2横区域の外縁の各々は、ウエスト開口部及び一対の脚開口部を有するパンツ状の物品を形成するように、背部の第1及び第2側縁の1つに固定される。

